

井原公民館だより

第84号

発行所 井原公民館
館長 三宅 秀治
井原市井原町1243-1
Tel/Fax 62-8478

年頭所感



みなさま、明けましておめでとうございませう。

2022年を振り返ってみると、あいかわらずコロナに振り回され異常気象もいたるところで猛威をふるった年でありました。

公民館の活動・行事も大半が中止を余儀なくされましたが、本年は今一度コロナと向き合って「ウィズ・コロナ」の観点からできる対策をとりながら、これまで以上に元気をだして、お祭り・イベント・運動会など徐々に行動を起こして、また安心して暮らせる井原にしていきましょう。

井原公民館
館長 三宅 秀治

2023年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

お正月はご家族皆様で楽しい時間を過ごせましたでしょうか。

2020年来の新型コロナウイルスウィルス感染拡大の影響により我々を取り巻く生活環境が大きく変化を遂げ、従来とは異なる行動規範や価値観ができてきたように感じています。

昨年は急激な円安や海外情勢の変化などによる生活必需品の度重なる値上げなど数多くの変化がありました。

本年は新型コロナが落ち着いて、マスク不要が現実化しますことを願いつつ引き続きのご支援とご協力をお願いして年頭のご挨拶とさせていただきます。

井原町まちづくりの会
会長 山岡 弘幸

卯年はこんな年

【卯年は「飛躍」や「向上」の年】

2023年は「癸（みずのと）卯（うさぎ）」年です。卯年は十二支の中で四番目に数えられます。卯は穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」、また、「その跳躍する姿から「飛躍」・「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。

「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると考えられます。2023年の卯年はこれまでの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する一年になることを願います。コロナ禍で中止になった多くの行事が再開されますように。

井原町の始まり

井原町がいつ頃から町の形を作り始めたのかあまり知られていないのではないかと思います。その部分を井原市史から拾ってみました。

旧井原村が最初に出てくるのは足利尊氏の頃です。この頃小田川は大水のたびに流路を変えていたようです。そして現在の町筋のあたりに自然堤防ができていて、「ススキ」などがしげつた湿地となっていたとみられます。

土木工事の技術が向上し立派な堤防工事が行われたのは、ほんを築くことができたようになったことが、民家急増の要因だと思われます。洪水の心配がなくなると、谷口という好位置に恵まれて、「市」が栄えました。人々は高原上から、付近の村々から集まってきたりするように、大きな集落となっていました。

江戸時代中頃の古地図によれば、戸数二六九戸を数え、完全に地方核心集落を形成しています。その分布は清道一戸、猪原一三戸、岩野七戸、新町六戸、本町三戸、下町五戸、北掛一戸、夏目九戸となっていて、北部の猪原、清道、岩野の三地区をのぞき、他はほとんど街村形態をとっています。集落発展の過程は、元和（一六一五）の初期に本町、ついで中町、宝永（一七〇四）年間に新町ができ、以後下町、倉掛と下流に向かって発展していきました。

しかし、約五十年後の天保（一八三〇）年間にすると、再び旧に復したようです。明治五年（一八七二）には、中心集落とその周辺を含めて、七〇八戸に増加しています。

明治中期になると、新町の川をへだてた上手の空き地に続々と民家が建ち始め、またたく間に数十軒の向町ができました。特に飲食店や宿屋が多かったのがこの街の特色といえます。川奥の村から農産物を井原に売りにきた人々のための休み場として、また、慰安場所としてこの地が位置的に都合がよかったためです。かくして明治後半から大正時代を通じて、向町はなかなか活気のある町として栄えました。

しかし、昭和になって井笠バスが井原と川奥各地を結ぶようになると、川奥各地の人々や物資が、向町を通過して井原の中心地に直結し、向町はその繁栄をうばわれていきました。

大正二年（一九一三）に井笠鉄道が開通すると、駅前商店街を形成していきました。合併によって井原市が生まれ、これを追って警察署や裁判所、郵便局などが相次いで南部に移転しました。

引用：井原市史

祝全国大会準優勝

備西地区大会、県予選大会を勝ち抜き、初めての全国大会出場を決めた「井原サクラ」チームは、奈良県橿原市のジェイテクトアリーナ奈良で11月29日（火）から開催された「第12回全国ママさんバレーボール冬季大会」に出場しました。

全国から選りすぐりの19チームが集い、熱い戦いが繰り広げられました。井原町からは選手として、西森泉さん、黒崎里美さん、藤岡玲子さん、西山佳子さん、高橋美紀さん、副監督として、光田美代子さんが出場しました。



でした。おめでとうございます。また、全国各地のチームとの親交も深められたそうです。

